

市長再任のごあいさつ

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 博文



この度、市民のみなさんから再度信任をいただき、市長の重責を担うことになりました。2度の経験から、4年間は市長にとって永いようで短い年月であることを知っているだけに、そのことを十分肝に銘じ、愛するふるさとのために、汗を流すつもりです。

■ ふるさに花を咲かそう

マイナスから始まったまちづくりへの挑戦。

ようやく、スタートラインへ辿り着こうとしています。振り返ると、財政健全化というハードルは、大変厳しい道のりでした。

これからは、未来に向けて種をまき、花を咲かせ、楽しく躍動する山陽小野田市を目指します。

■ 基本姿勢

そのためには、これまで同様に、

- 1 公正公平な市政を堅持します
- 2 市民が主権者であることを決して忘れません
- 3 財政規律の健全化を常に心がけます
- 4 災害に強いまちづくりに取り組みます

■ 公約

市民のみなさんへの公約は、選挙公報などでお伝えしたとおりです。

薄日が差し込んだようでいて、一向に回復しない最近の景気。早期退職の募集に踏み切った会社もチラホラ出ています。平成25年度の本

市の税収はかなり落ち込みそうです。そんななかで、未来に向けて花の種がまけるのだろうか。期待と不安の交錯する昨今ですが、「みなさんと共に、頑張るしかない」。これが目下の結論です。

これからの4年間は、小中学校の耐震化事業や新病院の完成、その他、新ごみ処理施設、厚狭地区公共施設、新有帆大橋等、大型公共施設の完成期を迎えますが、最近の時勢に備え、毎年、一定額の予算をまず防災費に充てようと考えています。次に、いくつもの先送りしてきた課題、つまり、細かいながらも住み良さに直結する事業に早急に取り組むつもりです。住宅リフォーム助成の拡充、小規模土木事業のスピードアップ、老々介護（在宅介護）の実態調査と適切な対応、観光振興に向けた新チャレンジ、独身者の「出会いの広場」開設等々です。財政規律を堅持するなか、どこまでやれるのか。これも挑戦です。



▲再選後の記者会見で記者からの質問に答える白井市長